



こんにちは！消費生活センターです

南島原市消費生活センター
☎82-3010

【相談急増！】光回線の契約は慎重に！

【うのみにしないで！セールストーク】

●「これからはアナログ回線から順次、光回線に替わる。このままだと固定電話が使えなくなる。今なら工事費無料なので、今のうちに替えませんか？」

➡光回線に替えなくても、アナログ回線のまま固定電話は利用できます。工事費が無料になるには、継続して利用するなどの条件があることもあります。

●「光回線に替えると月々の料金が安くなる」「今の光回線を切り替えると安くなる」

➡安くなるかどうかは、固定電話やインターネットの利用状況により異なります。ご自宅でインターネットを利用しない場合は、むしろ高額になったという相談が寄せられています。

●「大手電話会社の回線を利用している人へのご案内です」

➡あたかも大手電話会社から委託を受けた関連会社のように装いますが、実際には無関係のケースが多いです。

<消費生活センターからのアドバイス>

●光回線契約の流れ（電話勧誘の場合）

①電話でサービス内容を説明し、消費者が関心を示したら、消費者の許可を得て説明書面を送付



②消費者宅に説明書面が到着後、事業者が改めて電話し、消費者が書面を見ていることを確認して、サービスの提供条件の概要を説明



③消費者が説明内容に承諾した場合は契約成立し、事業者は遅滞なく、契約書面を交付（原則、紙媒体）



④工事が行われ、サービスの提供が開始

●電話での口頭のやり取りでも契約は成立します。電話勧誘であっても通信契約はクーリング・オフ（無条件契約解除）の適用がありません。承諾は慎重にしましょう。

※通信契約は、「初期契約解除（契約書到着後8日以内）」が費用負担ありで可能です。ただし、工事前は費用負担なしでキャンセルできる可能性があります。

おかしいと思った時は早めに対処しましょう。

困ったことがあったら、一人で悩まず、消費生活センターにご相談ください。



イタリア語講座(初心者向け)「Giro D' Italia」

関地域づくり課(西有家庁舎) ☎73-6631 FAX82-3086

Eメール: chiikishien@city.minamishimabara.lg.jp

イタリアの都市を巡ったつもりで、イタリア語を覚えましょう！
イタリア語が初めての人大歓迎です。この機会にイタリア語を話しましょう！

※全5回/火曜日 時間共通：午後7時30分～9時

回	日程	テーマ
1	2月3日	自己紹介・挨拶（ローマ市）
2	2月10日	女性男性名詞・複数（キエーティ市）
3	2月17日	動詞の使い方（ベネツィア市）
4	3月3日	買い物・数字（ミラノ市）
5	3月10日	復習

- ところ…西有家カムス
- 定員…30人(先着順)
- 料金…無料
- 対象…市民または市内勤務の人
- メ切…1月23日(金)
- 申込…市LINE、電話または必要事項(住所・氏名・電話番号・希望講座)を記載の上、FAX、Eメールで申し込んでください。



南島原市国際交流員

リキの



※lu Pont'は「架け橋」という意味

はじめまして！
国際交流員「リキ」です

皆さんはじめまして！

10月に着任した新しい国際交流員の「リキ」です。

イタリアから来ました。

「えー？イタリアからなぜここに来たんですか？」という質問が聞こえてきましたので、説明をさせていただきます。

時は戦国時代。440年前口之津にポルトガルから来た船が上陸しました。その船に乗っていたのはヴァリニャーノ神父で、南島原に来た最初のイタリア人でした。ヴァリニャーノは有馬にセナリヨ(神学校)を創設し、初めてヨーロッパ文化を日本に広めました。彼の出身地がキエーティ市だったので、2016年から南島原市と友好都市になりました。

それから令和の今、私が南島原に着任しました。最近、皆さんにこういう質問をしばしばいただきます。

「南島原の生活にもう慣れましたか？」。

答えは「はい」と「いいえ」両方の面があります。

明るくて社交的な南島原の人々に温かく歓迎されたので、確かにもう慣れました。そして、小さな田舎の村に住んだことがあったので、そういう生活は自然だと感じます。高層ビルや混んでいる電車よりも、家の屋根の上に広がる山並みと海の景色を見るのが大好きです。

逆に慣れていないものも沢山あります。

例えば、家の暖房と車の運転スタイルはイタリアと全然違います。さらにゴミの分別は大学の試験よりも複雑で、請求書を払うには3カ所へ行かなくてはいけないこともあります。

しかし、世界を探検することの面白さは毎日新しい発見ができる事じゃないですか？

それから皆さんのおかげでさまざまな新しいコツ、習慣、風習を学んでいます。さらに少しでも方言も教えてもらっていますが、まだはっきり分からないので会話をするときには優しく話してください。皆さんもうちょっと我慢してくれば、間もなく私も方言を完全に理解できるようになると思います。

とにかく、一番好きなのは、毎日の発見をイタリアや日本の友達に伝えることです。そのことからコラムの新しいタイトルを「lu Pont' (ユ・ポンテ)」に決めました。

自分の故郷の方言で「橋」という意味がありますが、人々がバーで集まって、いろいろな会話を楽しめる、賑やかな場所でもあります。

一方で、適当なイタリア語では、その言葉の意味は日本語の「架け橋」と同じです。やはり多文化、遠い国、異なる人々をつなぐ架け橋になることが私の目的です。

ですから、もしどこかで私を見かけたら、ぜひ声をかけて、南島原について何か話してください。



故郷の橋の景色



賑やかなバーの様子

イタリア ポンテヌーレ市出身の
アルペア・リッカルド(通称:リキ)です。
皆さん、よろしくお願いします！

